

# 自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成24年8月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成24年8月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

## ◎調査店1店当たりの販売台数

平成24年8月の1店当たりの新車販売台数は前月比88.8%の15.8台となり、前年同月比では変わらなかった。車種別でみると前月比で横ばいがマウンテンバイク、電動アシスト車で、下回ったのがシティ車76.9%、ホーム車98.6%、折りたたみ車85.7%、子供車76.9%、幼児車57.1%、スポーツ車81.0%である。前年同月比では上回ったのが折りたたみ車150.0%、子供車111.1%、幼児車133.3%、マウンテンバイク125.0%で、横ばいがシティ車、電動アシスト車、下回ったのがホーム車98.6%、スポーツ車77.3%である。

## ◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、修理に関するものが多く、「毎日暑い晴天の日が続いたが、商売はパツとしなかった。販売は前年同月比で50%以下になったが、反面修理は忙しかった」(山梨)、「暑さのため販売はあまりよくなかったが、タイヤチューブの取り替えが多かった」(愛知)、「修理は、例年にないくらい忙しい毎日だった。タイヤチューブの取り替えがすごく多かった」(福井)、「猛暑が続きパンク、タイヤ交換が増えて、修理に追われる月だった」(山口)、「連日の猛暑の中で商況は冴えなかったが、タイヤ・チューブ交換の多いのに驚いた」(熊本)など、8月は暑い日が続いたため、特にタイヤ・チューブの交換が増えたようだ。

また、「エアで入れる空気入れは無料、最初は空気を入れるだけだったが、最近ではパンク修理も多い」(東京)、「コインポンプの使用率が上がってきている。不慣れなユーザーへの対応や使用後に手をふくタオルの設置などを心がけた結果なのかもしれない。それにつれ修理も増え、新車販売につながる期待もある」(東京)など、集客につながるサービスのコメントがみられた。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗:100]

(平成24年8月)

[単位:台 構成比:%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.0	16.9	3.9	19.7	76.9	3.0	17.0	100.0
ホーム車	7.3	41.2	7.4	37.4	98.6	7.4	42.0	98.6
折りたたみ車	0.6	3.4	0.7	3.5	85.7	0.4	2.3	150.0
子供車	1.0	5.6	1.3	6.6	76.9	0.9	5.1	111.1
幼児車	0.4	2.3	0.7	3.5	57.1	0.3	1.7	133.3
マウンテンバイク	0.5	2.8	0.5	2.5	100.0	0.4	2.3	125.0
スポーツ車	1.7	9.6	2.1	10.6	81.0	2.2	12.5	77.3
電動アシスト車	1.3	7.3	1.3	6.6	100.0	1.3	7.4	100.0
合計	15.8	89.3	17.8	89.9	88.8	15.8	89.8	100.0
中古車	1.9	10.7	2.0	10.1	95.0	1.8	10.2	105.6
総合計	17.7	100.0	19.8	100.0	89.4	17.6	100.0	100.6
モーターバイク	0.4	2.3	0.5	2.5	80.0	0.4	2.3	100.0

注:モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回9月の販売動向調査結果は10月下旬にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会